

● 医薬品の個人輸入に関して

*個人輸入は、自分が使用するために輸入する制度です。個人輸入した医薬品の使用により健康被害が生じた場合は、患者の救済を図る公的な制度(医薬品副作用被害救済制度)の対象にはなりません。

*医薬品の成分によっては、個人輸入が認められないものもあります。詳しくは厚生労働省のホームページをご覧ください。

● 法律に違反した場合

*指定薬物及びこれを含有する物は、医薬品医療機器等法において、疾病の診断、治療又は予防の用途及び人の身体に対する危害の発生を伴うおそれがない用途以外の用途に供するための製造、輸入、販売、授与、所持、購入又は販売若しくは授与の目的での貯蔵、若しくは陳列は禁止されており、これらについては、同法に基づき**3年以下の懲役若しくは300万円以下の罰金、又はこれを併科(業として行った場合は、5年以下の懲役若しくは500万円以下の罰金、又はこれを併科)する**と規定されています。

*大麻は、大麻取締法において栽培、輸入、所持、譲渡等が禁止されており、違反した場合、同法に基づき**7年以下の懲役(栽培、輸入等)、営利目的の場合10年以下の懲役若しくは300万円以下の罰金、又はこれを併科。5年以下の懲役(所持、譲渡等)、営利目的の場合7年以下の懲役若しくは200万円以下の罰金、又はこれを併科**と規定されています。

危険ドラッグ販売サイトや医薬品成分が検出された製品等の販売サイトに対しては、製品の販売及び広告が中止されるよう指導・取締りを行っています。

あやしいクスリは
すぐに通報!



医薬品の個人輸入を
検討している方はここに相談!

薬の海外通販・危険ドラッグのこと
あやしいヤクブツ連絡ネット

連絡ネットコールセンター
03-5542-1865

あやしい ヤクブツ

検索



| Webサイト <https://www.yakubutsu.mhlw.go.jp>
| Twitter <https://twitter.com/yakubutsumhlw>

顔が見えない相手から、 クスリを買って大丈夫?



「やせる」「お手軽」「安い」など、甘い言葉にはご用心!
医薬品等の海外からの個人輸入やフリーマーケットサイトでの購入は品質の面でたいへん危険です。
安易な購入は控えましょう。

クスリの個人輸入に注意!



詳しくは中面へ

海外から個人輸入した医薬品や 顔が見えない相手から購入した 薬の使用は、たいへん危険です。



個人輸入する海外の医薬品の中には、 「粗悪品」や「偽造品」が確認されています！



厚生労働省が、インターネット上で販売されている「海外製医薬品」と称する製品を購入・分析した結果、表示と異なる成分を含む「粗悪品」や「ニセモノ」の製品が数多く見つかっています。これらを使用すると重大な健康被害が生じるおそれがありますが、その場合は**患者の救済を図る公的な制度(医薬品副作用被害救済制度)の対象になりません**のでご注意ください。詳しくは下記ホームページをご覧ください。



偽造医薬品見本(瘦身薬)

(独法) 医薬品医療機器総合機構: https://www.pmda.go.jp/kenkouhigai_camp/index.html

海外製のサプリメントから 医薬品成分が検出! 健康被害の発生も!!



強壮やダイエットをうたう海外製のサプリメントには、医薬品成分が含まれていることがあります。服用により思わぬ健康被害にあったという事例も多発しています。

〈健康被害事例〉

2021年、海外から強壮サプリメント製品を個人輸入して服用した方が、腹痛、手の震え、吐き気、頭痛の症状により医療機関を受診。医師から鉛中毒と診断され、服用していた強壮サプリメント製品からは鉛以外にも「アシュワガンダ」「ヒヨス」といった医薬品成分が検出されました。



強壮サプリメント製品

知らず知らずの危険ドラッグ&大麻に要注意!



■海外製サプリメントのほが、日本では危険ドラッグ!?

海外製の医薬品やサプリメントの中には、日本で危険ドラッグに指定されているものが名前や形状を変えて販売されていることがあります。通販サイトでは成分等の詳細が表示されていないため、危険ドラッグと知らずに購入してしまうかもしれません。

■海外旅行のお土産に「大麻入りの食品」!?

海外旅行のお土産として買ったり、もらったりしたクッキーやチョコレート等の中に大麻が含まれているものもあります。また、電子タバコの中に液体状の大麻を入れて密輸する例も相次いでいます。これらは全て「大麻」であり、日本に持ち込むこと、人にあげること、持っていることは違法です。「これぐらいなら…」ではすまされない“犯罪”になるので、十分に注意してください。



国内での売買にも注意が必要!



インターネット(フリマサイトやSNSなど)で許可なく医薬品を 販売することは薬機法に抵触する可能性があります。

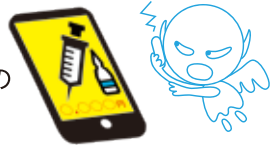
医薬品のネット販売は、各自治体から許可を受けた薬局・薬店*のみが許されています。サイトのトップページの掲載事項を確認しましょう。許可を得たネット販売業者の名称・勤務している薬剤師が有資格者であるかは、厚生労働省のホームページからも確認できます。*医薬品医療機器等法上は「店舗販売業」



▶ <https://www.mhlw.go.jp/bunya/iyakuhin/ippanyou/hanbailist/index.html>

〈通報事例〉

ダイエットを目的とした糖尿病治療薬(GLP-1薬、インスリン製剤)等の販売がフリマサイトにおいて複数回通報されています。



人からクスリをもらわない!使わない!

医薬品は医師や薬剤師などと相談して、本来の目的で正しく使用しましょう。ご自身の症状にあった医薬品を購入するため、必ず専門家から説明を受けましょう。

